

## PPP工法の累計実績が5万棟突破 2021年までに10万棟達成へ

ピュアパイル工法普及振興会

戸建て住宅用の地盤補強工法、ピュアパイル（PPP）工法のさらなる普及に向け、指定施工会社を集め懇親会を開催した。

基礎工事専門のテノックスなどがピュアパイル工法を開発した。専用の掘削ロッドを回転させながら地盤を掘削後、セメントミルクを排出しながら掘削ロッドを引き上げ柱体をつくる。地盤改良工法として普及している柱状改良工法の長所を活かしつつ、強度のばらつきや、残土処理にかかる費用といった同工法の課題を克服した。

約6年前の本格販売以降、こうした強みが支持され、施工実績は急増している。2018年12月までの累計実績は5万214棟。2018年度の施工実績は1万2000棟、累計施工実績は5万3350棟となる見込みだ。

また、全国の指定施工会社、協力会社・FC会社の総数は、それぞれ41社、107社にま



「PPP工法のさらなる魅力向上に務めたい」と話すテノックスの佐藤社長

で拡大。年間2万棟に対応できる体制を構築した。2019年度は、さらに使いやすい工法へと進化を図り、新認証を取得して運用開始を目指す。

テノックスの佐藤雅之代表取締役社長は「ピュアパイル工法は、他の地盤改良工法に比べて多くの優位性を持っている。指定施工会社間で情報共有し、ピュアパイル工法のブラッシュアップを図り、さらに魅力を高めていきたい。2021年までに累計施工実績10万棟達成を目指す」と述べた。